積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店

設備システム営業所　〒980-6010 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1（SS30）
☎ 022（217）0608

東日本支店　建築営業部

東京設備システム営業所　〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4（オークラプレステージタワー）
☎ 03（6748）6510

関東設備システム営業所　〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-333-13（大同生命さいたま大宮ビル）
☎ 048（646）0160

横浜営業所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-8-4（横浜西口KNビル）
☎ 045（311）9115

東関東営業所　〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町24-9（ウエストビル）
☎ 043（204）5070

甲信営業所　〒390-0814 長野県松本市本庄1-3-10（大同生命松本ビル）
☎ 0263（38）1220

静岡営業所　〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-25（エスパティオ）
☎ 054（333）9810

中部支店

設備システム営業所　〒450-6642 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3（JRゲートタワー）
☎ 052（307）6806

西日本支店　建築営業部

近畿設備システム営業所　〒530-8565 大阪府大阪市北区西天満2-4-4（堂島関電ビル）
☎ 06（6365）4502

中国設備システム営業所　〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町7-18（東芝フコク生命ビル）
☎ 082（224）6251

北陸営業所　〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1（金沢パークビル）
☎ 076（231）4245

京滋営業所　〒601-8105 京都府京都市南区上鳥羽上調子町2-2（京都研究所内）
☎ 075（662）3418

四国営業所　〒760-0023 香川県高松市寿町1-2-5（井門高松ビル）
☎ 087（821）2113

九州支店

設備システム営業所　〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町1-2
☎ 092（271）1314

沖縄営業所　〒900-0032 沖縄県那覇市松山1-1-19（JPR那覇ビル）
☎ 098（943）2780

積水化学北海道（株）　営業本部

建築営業部　〒001-0014 北海道札幌市北区北14条西4-2-1（ハーモネートビル）
☎ 011（737）6330

お客様相談室　☎ 03（6748）6480

●お問い合わせは上記各営業所へ

エスロンタイムズ
https://eslontimes.com
二次元コードでアクセスはコチラ！

専用の管理ページでさらに便利に！
あなただけのエスロンタイムズ
MYエスロン®

＊記載価格はメーカー希望標準設計価格です。
＊価格には消費税は含まれておりません。
＊記載価格は2022年9月現在のものです。
＊印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
＊記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2014年　3月　初　　版
2022年　9月　改訂2版

エスロン排水ヘッダーシステム・
基礎貫通キットカタログ

積水化学工業株式会社
管材事業部

ツールコード
No. 05469
2022. 9. 2TH TX

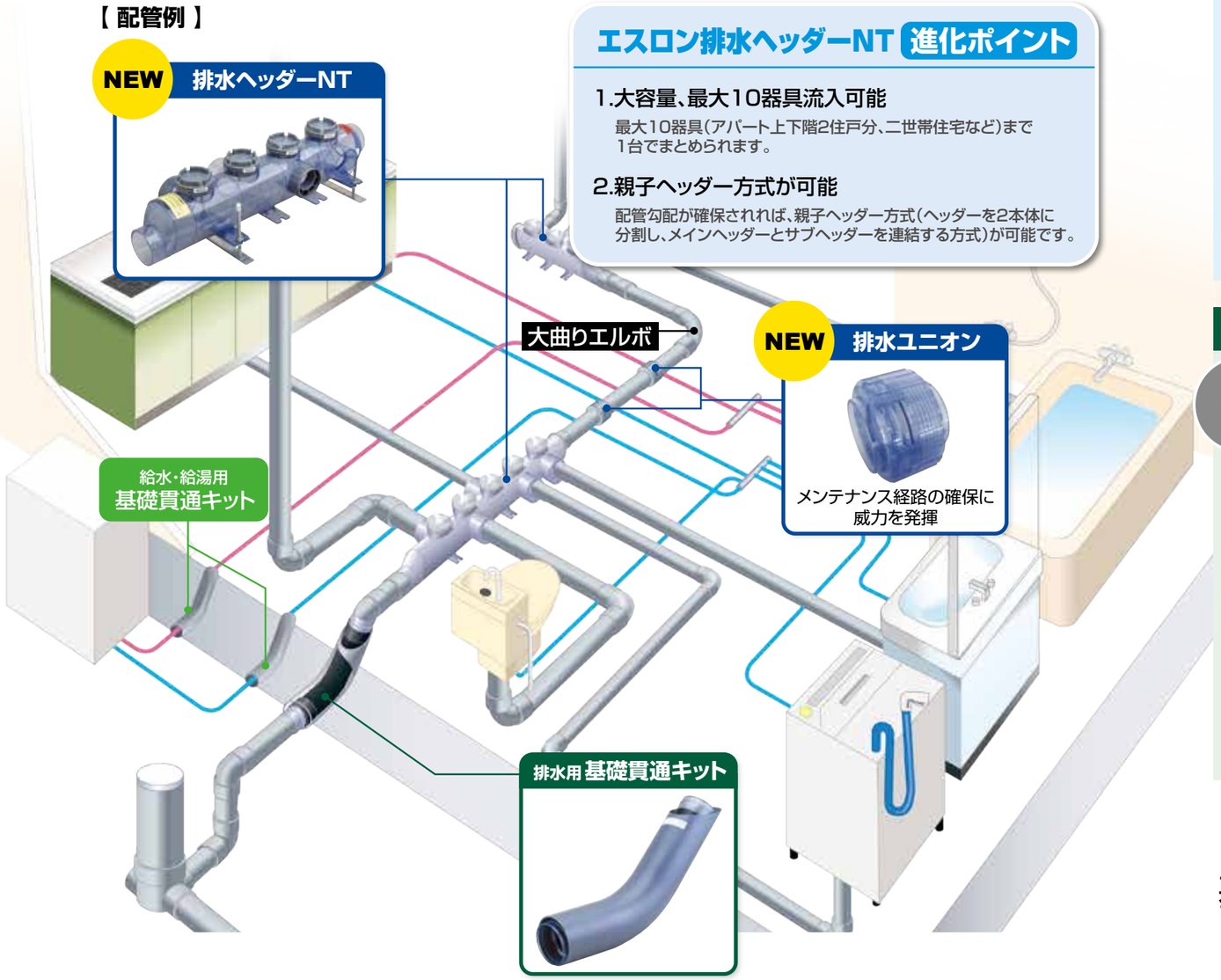
SEKISUI

2022.9　改訂2版



信頼の**エスロン排水ヘッダーシステム**がさらに進化!**排水ヘッダーNT**登場!

【 配管例 】



エスロン排水ヘッダーNT 進化ポイント

1.大容量、最大10器具流入可能

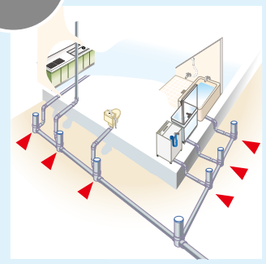
最大10器具(アパート上下階2住戸分、二世帯住宅など)まで1台でまとめられます。

2.親子ヘッダー方式が可能

配管勾配が確保されれば、親子ヘッダー方式(ヘッダーを2本体に分割し、メインヘッダーとサブヘッダーを連結する方式)が可能です。

排水配管システム(屋内外)

従来



●貫通箇所が多い

排水ヘッダーなら…

排水をまとめることで**基礎貫通部を削減**



施工がラクに

●排水設備工事の省力化。
●屋外汚雑埋設配管・宅地マスを削減。
●外周基礎貫通数の削減。

狭小地・リフォーム対策に

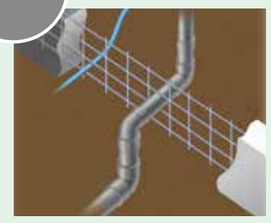
●敷地面積の縮小化にともなう狭小地対策に最適。

メンテナンスも容易

●土間上に配管が露出するため、汚物詰まり等の確認が容易。

基礎貫通部

従来



●貫通部が基礎コンクリートに埋設点検・補修が困難
●貫通部周辺は鉄筋の法定コンクリートかぶり厚が確保できているか心配

基礎貫通キットなら



スリーブホルダーによりかぶり厚40mm確保。施工管理が容易。

点検・補修が容易

●排水配管をさや管工法で配管することにより、排水管の抜き差しもコンクリート躯体に影響なし。

施工管理が容易

●スリーブホルダーにより鉄筋のかぶり厚を確保。

排水ヘッダーシステム ＋ 基礎貫通キット で

基礎品質確保、カンタン維持管理。さらに経済的で省力施工。

※住設機器のレイアウト、自治体指導により配管設計は変わります。

戸建住宅の宅内排水合流に
エスロン排水ヘッダーシステム

特長

1.コンパクトで優れた掃流性を発揮する卵形形状
2.逆流を抑制
3.維持管理用の掃除口を設置
4.支持金具により高さ調整もカンタン
5.透明ボディで、施工確認が容易

NEW 排水ヘッダーNT



最大**10器具**まで

排水ヘッダーT型



最大**7器具**まで

長期優良住宅をサポート
エスロン基礎貫通キット

特長

1.将来の点検、補修がスムーズ
2.管を差し込むだけのカンタン配管
3.排水のほか、給水配管にも対応
4.さや管内の水密性も万全



可とう管の抜き差しが可能なので点検・補修が簡単に行えます。



住宅の品質確保促進法に対応。

住宅の品質確保促進法「維持管理への配慮」の項目で等級2以上に対応します。

※品確法(等級2以上)とは「構造躯体に影響を及ぼすことなく専用配管の点検および補修を行うことができること。」

●給水、給湯ヘッダー工法と合わせたトータルシステムとしてのコスト低減の提案が可能です。

【フラット35】S(住宅金融支援機構の住宅ローン)の技術基準に適合!

長期優良住宅法の規定に適合

本文中のマークについて

⚠注 意

上記マークの付いている事項は、それらを守らないと大けが・火傷などの事故を引き起こすことがありますので、ご注意ください。

⚠

上記マークの付いている事項は、製品性能を確保するために必ず守っていただきたい注意事項です。

目 次

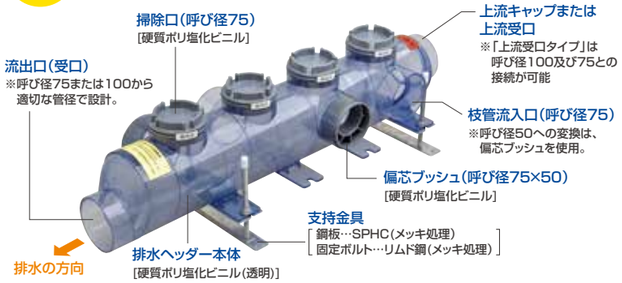
排水ヘッダーシステムのラインアップ……3
排水ヘッダーシステム2種の比較 ……3
排水ヘッダーシステム関連製品 ……4
排水ヘッダーシステムの特長 ……4
排水ヘッダーの設計・施工について……4
基礎貫通キットの特長 ……5
基礎貫通キットのラインアップ……5
基礎貫通キットの構成部材 ……7
排水ヘッダーの標準施工手順 ……8
排水ユニオンの標準施工方法……9
基礎貫通キットの標準施工手順 …… 10

エスロン® 排水ヘッダーシステム

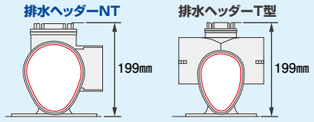


排水ヘッダーシステムのラインアップ

NEW エスロン排水ヘッダーNT



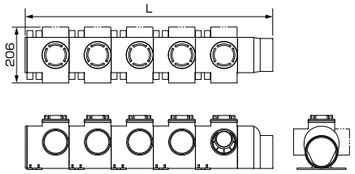
■最大10器具(アパート上下階2住戸分、二世帯住宅等)まで1台でまとめられます。
■親子ヘッダー方式(ヘッダーを2本体に分割し、メインヘッダーとサブヘッダーを連結する方式)が可能です。
■上流受口タイプの場合、上流受口より呼び径100および75の接続が可能です。
■独自の卵形断面形状により、容量をアップしながら高さは従来のT型と同等(当社比)です。



■上部の掃除口(呼び径75)と、透明本体を踏襲し、従来通り点検・メンテナンスが容易です。

■排水ヘッダーNT
上流キャップタイプ





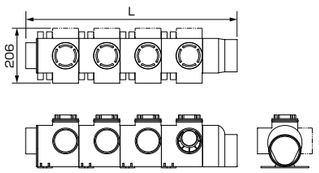
(図例:5P)

単位:㎜

タイプ	流入口数	L
流出口管径 呼び径75	2P	436
	3P	591
	4P	746
	5P	901
	6P	1056
	7P	1211
流出口管径 呼び径100	2P	446
	3P	601
	4P	756
	5P	911
	6P	1066
	7P	1221
	8P	1376
	9P	1531

■排水ヘッダーNT
上流受口タイプ





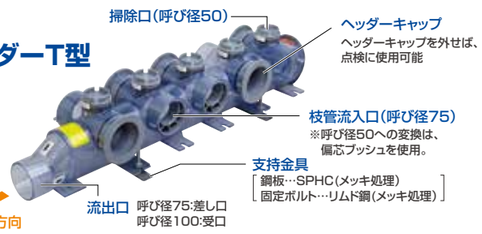
(図例:5P)

単位:㎜

タイプ	流入口数	L 上流受口 呼び径75	L 上流受口 呼び径100
流出口管径 呼び径75	2P	320	–
	3P	475	–
	4P	630	–
	5P	785	–
	6P	940	–
	7P	1095	–
流出口管径 呼び径100	2P	330	340
	3P	485	495
	4P	640	650
	5P	795	805
	6P	950	960
	7P	1105	1115
	8P	1260	1270
	9P	1415	1425

※1.1掃除口あたりの流入口数は、1箇所(右側流入または左側流入のどちらか。但し上流受口を除く)となります。
※2.偏芯ブッシュは現場接着です。着色接着剤ご指定の現場では、偏芯ブッシュの接着にエスロン接着剤No.73SブルーまたはNo.75Sブルー Nをご使用ください。

■エスロン 排水ヘッダーT型

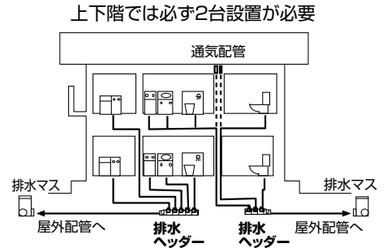


■最大7器具まで1台でまとめられます。
■透明本体であり、外部からの目視点検が可能です。
■左右ある枝管流入口のうち、流入しない側のキャップを外せば、上部の掃除口(呼び径50)と合わせてメンテナンスに使用可能です。

排水ヘッダーシステム2種の比較

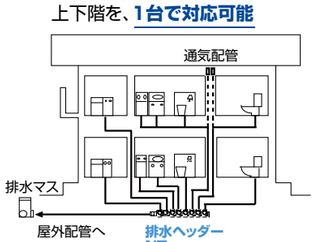
排水ヘッダーT型

最大7器具／台のため、アパート上下階では必ず2台設置が必要

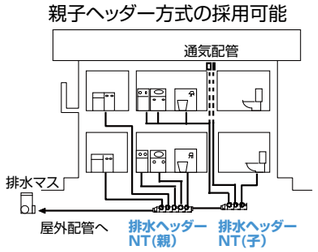


排水ヘッダーNT

最大10器具／台によりアパート上下階を、**1台で対応可能**



また、配管勾配が確保できれば親子ヘッダー方式の採用可能

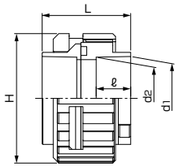


関連製品

NEW 排水ユニオン

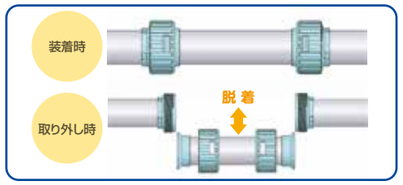
床下の排水配管の脱着が容易に可能で、メンテナンス経路の確保に威力を発揮します。





単位:㎜

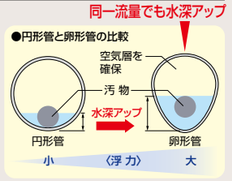
サイズ	品番	d1	d2	ℓ	L	H
50	SUDU50	60.5	59.5	25	64	93
75	SUDU75	89.6	88.3	40	98	124



排水ヘッダーシステムの特長

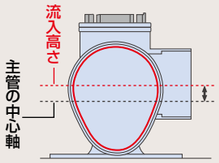
1.コンパクトで優れた掃流性を発揮する卵形形状。

排水ヘッダーの断面形状は、器具の複数同時排水から単独排水までスムーズに掃流できる卵形形状を採用。**円形管に比べ、優れた搬送能力を持っています。**



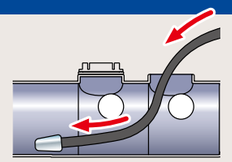
2.逆流を抑制。

排水枝管の流入高さは主管の中心軸より高く設置しており、他器具からの排水が逆流しにくい構造です。



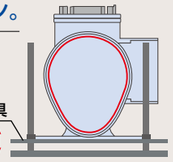
3.維持管理用の掃除口を設置。

上部の掃除口から、点検やメンテナンスが行えます。



4.支持金具により高さ調整もカンタン。

ヘッダーのレベル調整は付属の支持金具で土間コンクリート等から高さや排水勾配の調整が可能です。



5.透明ボディで、施工確認が容易。

本体の色は透明で、主管、枝管の接続を目視により確認することができます。

排水ヘッダーの設計・施工について

※詳細は「設計・施工マニュアル」をご参照ください。

メーカー(積水化学)で邸別に配管設計。建築図面から最適なシステム配管設計図を作成します。設計依頼時に以下の図面が必要になります。

1 平面図…排水器具の位置、パイプスペースの位置、建物寸法が明確なもの。 **2** 基礎伏図
3 配置図…最終マスの位置が明記されているもの。

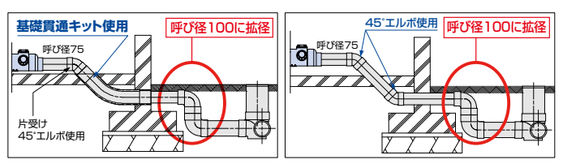
配管設計図の承認を頂いた後、生産をいたします。

1 排水ヘッダーの設計基準

		排水ヘッダーNT	排水ヘッダーT型
接続器具数	流出口の管径が呼び径75の場合	最大7器具 (但し、大便器とUBの器具数合計が**3**器具以内)	最大7器具 (但し、大便器は2器具以内)
	流出口の管径が呼び径100の場合	最大**10**器具 (但し、大便器とUBの器具数合計が**4**器具以内)	最大7器具 (但し、大便器は2器具以内)
流出口の管径		呼び径75、100に対応	呼び径75、100に対応
流入口の管径		呼び径50、75、100に対応 (100はヘッダー最上流部のみ接続可)	呼び径50、75に対応
2,3階器具の立て管合流		可(一部制限あり)	–
親子ヘッダー方式		可	–
接続ピース数／台		2～9P	2～7P
備 考		排水形態に応じて通気などの対応が必要(設置条件はマニュアル参照)	

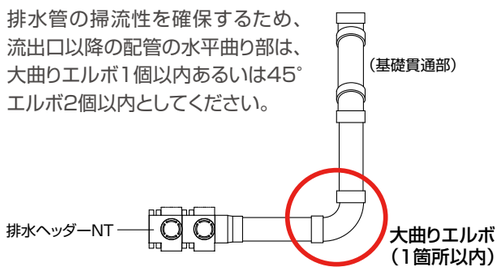
2 基礎貫通部の施工方法

排水ヘッダー流出管の外周基礎の貫通方法は、基礎貫通キット(または布基礎の場合45°エルボも可)を用いて斜めに配管します。また、排水主管が呼び径75の場合、下図のように基礎外側直近の立下げ部から口径を呼び径100に拡径し、マスへつなぎ込んでください。



3 流出口配管に水平曲りがある場合

排水管の掃流性を確保するため、流出口以降の配管の水平曲り部は、大曲りエルボ1個以内あるいは45°エルボ2個以内としてください。



エスロン® 基礎貫通キット



基礎貫通キットの特長

1.将来の点検、補修がスムーズに行えます。

排水配管をさや管工法で配管することにより、排水管の抜き差しもコンクリート躯体に影響を与えず、点検・補修がスムーズに行えます。



2.管を差し込むだけのカンタン配管。

排水配管に可とう管を用いることによって、スリーブベンド管（さや管）内の配管もラクラク行えます。なお、受口は透明塩ビなので、通常の塩ビ管との接着接合と接合確認が行えます。



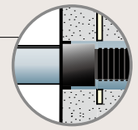
3.排水のほか、給水配管にも対応します。

エスロン基礎貫通キットは排水配管だけでなく、給水配管（架橋ポリエチレン管、金属強化ポリエチレン管）の基礎貫通にも対応できます。



4.さや管内の水密性も万全です。

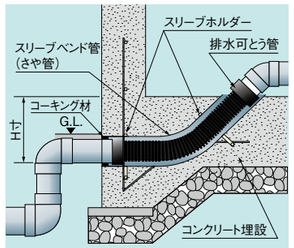
スリーブベンド管（さや管）と可とう管のすき間を現場にてシーリング材で仕上げ易くするためのコーキング材を同梱しています。



完全止水

基礎貫通キットのラインアップ

■標準基礎用セット

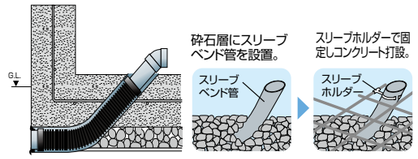


※標準基礎用スリーブベンド管を、塩ビ接着で配管延長はできません。

以下のタイプにも対応可能

シングルベタ基礎 長に対応!

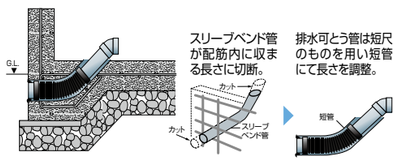
主筋の下への配管が可能



該当品種：H寸…300、325等の品種

コンクリート埋設部が短尺になる場合 短に対応!

鉄筋の位置に応じて配管できる。（現地調整可）



該当品種：セット品番　YD5SEF･YD7SEF･YDHSEF





※コーキング材は同梱されません。



■基本セット部材

（スリーブベンド管+排水可とう管+コーキング材+スリーブホルダー（×2個））

単位：㎜

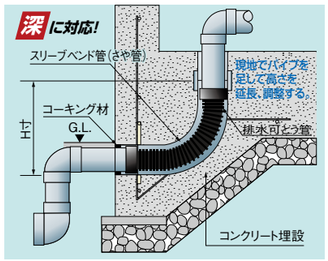
用途	スリーブベンド管 対象管径	スリーブベンド管 H寸	セット品番	セット価格（円／セット）	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン	コーキング材 テープ	スリーブホルダー（×2個）	入り数（セット）
排水用	50用	230	YD5SSF	13,810	●(580)	●	−	●	9
		280	YD5SKF	13,980	●(580)	●	−	●	9
			YD5SEF	13,980	●(420)	●	−	●	9
		300	YD50SN	14,210	●(630)	●	−	●	9
	75用	230	YD7SSF	18,550	●(580)	●	−	●	6
		280	YD7SKF	18,720	●(580)	●	−	●	6
			YD7SEF	18,720	●(470)	●	−	●	6
		325	YD75SN	18,950	●(670)	●	−	●	6
	100用	250	YDHSSF	25,470	●(700)	−	−	●	4
		300	YDHSEF	25,470	●(540)	−	−	●	4
			YDHSKF	26,060	●(700)	−	−	●	4
給水給湯用	PEX SMTX	230	YDKSSF	2,840	−	−	●	●	9
		270	YDBBH	3,080	−	−	●	●	9

■その他セット部材

単位：㎜

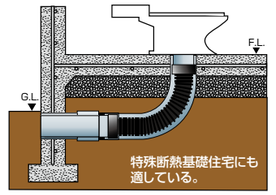
用途	スリーブベンド管 対象管径	スリーブベンド管 H寸	セット品番	セット価格（円／セット）	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン	コーキング材 テープ	スリーブホルダー（×2個）	入り数（セット）
排水用	50用	230	YD5SSS	13,030	●(580)	●	−	−	9
		280	YD5SKS	13,150	●(580)	●	−	−	9
			YD5SES	13,150	●(420)	−	−	●	9
		300	YD50SR	13,390	●(630)	●	−	−	9
	75用	230	YD7SSS	17,770	●(580)	●	−	−	6
		280	YD7SKS	17,890	●(580)	●	−	−	6
			YD7SES	17,890	●(470)	−	−	●	6
		325	YD75SR	18,130	●(670)	●	−	−	6
	100用	250	YDHSSS	24,290	●(700)	−	−	−	4
		300	YDHSKS	25,470	●(700)	−	−	−	4
給水給湯用	PEX SMTX	230	YDKSSS	2,130	−	−	●	−	9
		270	YDBBR	2,610	−	−	●	−	9
		430	YDKFSF	4,150	−	−	−	●	3

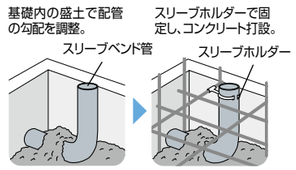
■深基礎用セット



以下のタイプにも対応可能

床下スペースのないところ　メンテ部材としても対応!





※深基礎用スリーブベンド管の配管延長は、片側のみ可能です。両端のパイプ延長は更新時に可とう管が抜けなくなるため、不可となります。
※深基礎用スリーブベンド管は、VUソケットによる延長が可能です。







■基本セット部材

（スリーブベンド管+排水可とう管+コーキング材+スリーブホルダー（×2個））

単位：㎜

用途	スリーブベンド管 対象管径	スリーブベンド管 H寸	セット品番	セット価格（円／セット）	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン	コーキング材 テープ	スリーブホルダー（×2個）	入り数（セット）
排水用	50用	430	YD5FSF	16,110	●(730)	●	−	●	3
	75用	430	YD7FSF	20,920	●(730)	●	−	●	3
	100用	600	YDHFSF	40,270	●(900)	−	−	●	2
給水・給湯用	PEX SMTX	430	YDKFSFK	4,260	−	−	●	●	3

■その他セット部材

単位：㎜

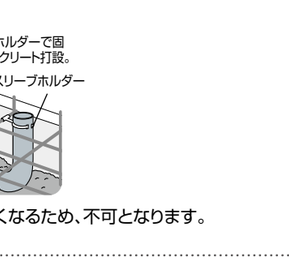
用途	スリーブベンド管 対象管径	スリーブベンド管 H寸	セット品番	セット価格（円／セット）	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン	コーキング材 テープ	スリーブホルダー（×2個）	入り数（セット）
排水用	50用	430	YD5FSS	15,290	●(730)	●	−	−	3
	75用	430	YD7FSS	20,140	●(730)	●	−	−	3
	100用	600	YDHFSS	39,090	●(900)	−	−	−	2
給水・給湯用	PEX SMTX	430	YDKFSS	3,440	−	−	−	−	3

■防蟻セット

配管からのシロアリの侵入をシャットアウト!

長期優良住宅法の認定を受けるための性能認定基準における「劣化対策等級3」の条件には防蟻対策が含まれます。セキスイは、基礎貫通キット防蟻セットと防蟻処理施工の組み合わせで長期優良住宅法適用をサポートします。

防蟻処理施工、及び、5年間保証につきましては、
（株）コシイプレザービング様にご相談ください。
連絡先　株式会社コシイプレザービング
〒559-0026 大阪市住之江区平林北2-9-145
TEL:06-6685-1911









■基本セット部材

（スリーブベンド管+排水可とう管+コーキング材+防蟻テープ+スリーブホルダー（×2個））

単位：㎜

用途	スリーブベンド管 対象管径	スリーブベンド管 H寸	セット品番	セット価格（円／セット）	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 防蟻パッキン	コーキング材 テープ	防蟻テープ	スリーブホルダー（×2個）	入り数（セット）
排水用	50用	230	YD5SSFB	16,180	●(580)	●	−	●	●	9
		280	YD5SKFB	16,350	●(580)	●	−	●	●	9
	75用	230	YD7SSFB	20,920	●(580)	●	−	●	●	6
		280	YD7SKFB	21,080	●(580)	●	−	●	●	6
給水・給湯用	PEX SMTX	230	YDKSSFB	4,260	−	※1	●	●	●	9

※1　防蟻パッキンの代わりに、給水用防蟻シーラーが必要

■コシシーラー（別売）

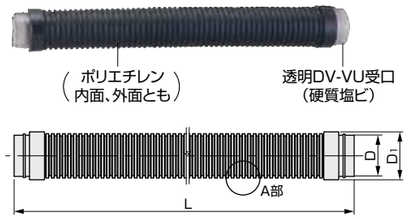
※コシイプレザービング社製　内容量 320mℓ／本

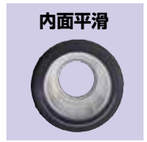
単位：㎜

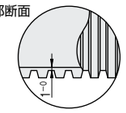
品名	品番	定価	対象スリーブベンド管	入り数
コシシーラー	YDSCB	7,110	給水用	10

基礎貫通キットの構成部材

排水可とう管（内管）





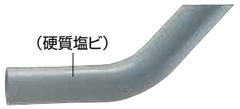


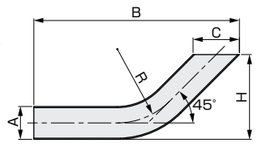
単位:mm

種　別	呼び径	L	D	D1
Ⅰ	50	420	φ67	φ78
Ⅱ		580	φ67	φ78
Ⅲ		630	φ67	φ78
Ⅳ		730	φ67	φ78
Ⅴ	75	470	φ97	φ101
Ⅵ		580	φ97	φ101
Ⅶ		670	φ97	φ101
Ⅷ		730	φ97	φ101
Ⅸ	100	700	φ124	φ128
Ⅹ		540	φ124	φ128
Ⅺ		900	φ124	φ128

スリーブベンド管（さや管）

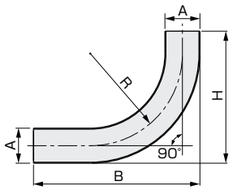
標準基礎用





深基礎用





単位:mm

用　途	対象管径	H	A	B	C	R	対応排水可とう管
排水用	50用	230	φ89	551	126	200	Ⅱ
		280	φ89	541	126	200	Ⅰ,Ⅱ
		300	φ89	576	126	200	Ⅲ
	75用	230	φ114	567	161	250	Ⅵ
		280	φ114	559	161	250	Ⅴ,Ⅵ
		325	φ114	611	161	250	Ⅶ
	100用	250	φ140	668	194	350	Ⅸ
		300	φ140	648	194	350	Ⅹ,Ⅸ
給水･給湯用	PEX･SMTX用	230	φ60	511	89	200	PEX･SMTX
		270	φ60	533	89	200	PEX･SMTX

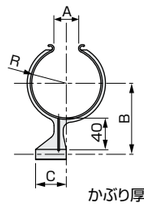
単位:mm

用　途	対象管径	H	A	B	R	対応排水可とう管
排水用	50用	430	φ89	530	250	Ⅳ
	75用	430	φ114	542	300	Ⅷ
	100用	600	φ140	600	400	Ⅺ
給水･給湯用	PEX･SMTX用	430	φ60	515	250	PEX･SMTX

PEX:エスロペックス（架橋ポリエチレン管）
SMTX:スーパーエスロメタックス（金属強化ポリエチレン管）

スリーブホルダー





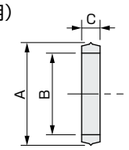
単位:mm

製品名	A	B	C	R	対象鉄筋径	品番	梱包数(個)
排水用	32	93	40	45	φ10	YDSHA	500
	32	93	40	45	φ10	YDSHC	50
給水･給湯用	17	70	40	23	φ10	YDSHB	500
	17	70	40	23	φ10	YDSHD	50

コーキング部材

パッキン（排水用）





単位:mm

呼び径	A	B	C	対象可とう管
50	φ83.6	φ66.4	14.5	Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ･Ⅳ
75	φ106.6	φ96.0	14.5	Ⅴ･Ⅵ･Ⅶ･Ⅷ

テープ（給水用）



長さ10m（3厚×50幅）

防蟻部材

防蟻パッキン



単位:mm

呼び径	A	B	C
50	φ83.7	φ66.4	14.5
75	φ107.7	φ96.0	14.5

防蟻テープ
（スリーブベンド管外周用）



排水ヘッダーの標準施工手順

1 排水ヘッダーの位置決め



支持金具を排水ヘッダーに固定し、設置位置を確認します。



2 排水ヘッダー流出口の配管との接続



排水ヘッダー流出口と排水管を接続します。

※排水ヘッダーの流出口形状は、受口です。
（但し、T型呼び径75のみ差し口）
※接着剤は、着色接着剤のエスロン接着剤No.73Sブルーまたは No.75Sブルーを推奨します。

3 支持金具の固定



コンクリートビス等で、支持金具を土間コンクリート上に取り付けます。

4 ヘッダーの勾配確認



排水ヘッダーが所定の勾配になるように、仮固定しておいた支持金具と排水ヘッダーを調整し、本締めします。

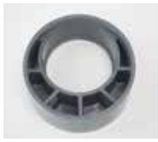


※枝管上部に勾配計を乗せて、勾配の確認ができます。

⚠ 排水ヘッダー主管には勾配がついていませんので、必ず所定の勾配をつけてください。

5 排水枝管との接続





偏芯ブッシュ

排水ヘッダーと器具側排水枝管を接続します。

※器具側排水枝管呼び径50を接続する場合は、偏芯ブッシュ75×50を使用してください。

6 排水枝管の支持固定





支持固定では、継手接合部、器具直下を、それぞれ支持金具を使用して固定してください。

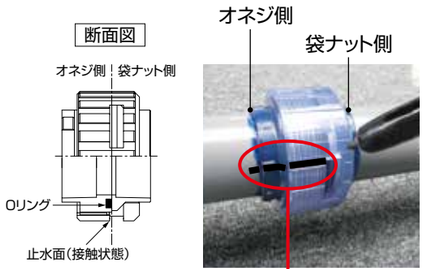
⚠注意 2階大便器及び2階雑排水の2器具以上の合流の場合は、通気弁を設置してください。(詳細は、設計･施工マニュアルをご参照ください)

⚠ 排水ヘッダーの使用上の注意

- ●排水ヘッダーの上に乗ったり、放り投げたりしないでください。また、保管は屋内保管を原則としてください。
- ●連続最高使用温度は45℃です。
- ●熱伸縮による管の抜けや破損を防止するために、伸縮継手を必要に応じて設置してください。
- ●排水ヘッダーの向かい合う枝管への合流配管は禁止です。
- ●引渡し前に、排水ヘッダーの掃除口が確実に閉まっていることを確認してください。
- ●排水ヘッダーを支持金具で確実に固定し、配管の勾配を確認してください。
- ●施工の詳細については「設計･施工マニュアル」をご参照ください。
- ●接着接合にあたっては、別途「エスロン接着剤」カタログをご参照の上、安全･確実に施工をしてください。
- ●排水ヘッダーT型のヘッダーキャップを付け替えた時は、ヘッダーキャップをヘッダー本体受口奥部まで挿入し、必ずビス止めをしてください。

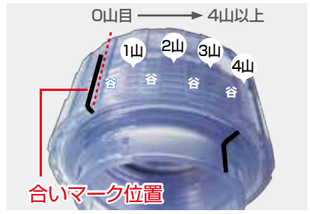
排水ユニオンの標準施工方法

❶ 袋ナットの締め付け方法



①**Oリングが袋ナット側に当たった状態で**、袋ナットを軽く回転し止まった点をゼロポイントとします。
②ゼロポイントで袋ナット側とオネジ側に、合いマークを油性ペンで記入します。
③袋ナットを手で締め付けます。締め付け量は以下の通りにしてください。

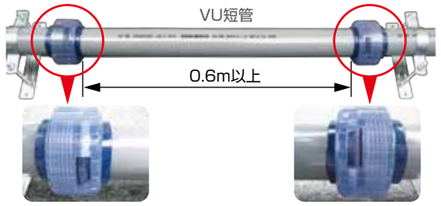
呼び径50の場合
ゼロポイントから、**表面凸部4山**以上回転



呼び径75の場合
ゼロポイントから、**表面凸部3山**以上回転



❷ 新設時の施工

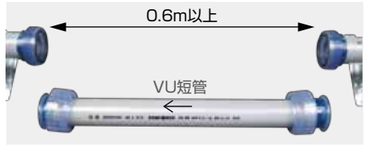


排水ユニオンを設置する際には、0.6m以上の間隔で設置してください。
VU短管の両端（下図参照）には袋ナット側を接着接合してください。



※VU短管には、流れ方向を示す矢印を油性ペンで記入すること

❸ 既設配管への排水ユニオンの施工



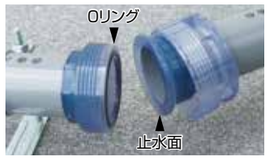
※VU短管には、流れ方向を示す矢印を油性ペンで記入すること

①排水ユニオンを設置する際には、0.6m以上の間隔で設置してください。
②切断したVU短管から、排水ユニオン2個分の有効長
（φ50：18×2=**36mm**、φ75：20×2=**40mm**）を、さらに切断します。
③VU短管の両端に、袋ナット側を接着接合してください。止水面保護のため、**この時点では排水ユニオンは分解せずに**接着してください。
④**上記接着の後、袋ナットを外し、**オネジ側を既設配管に接着接合します。
⑤VU短管を取り付け、「❶袋ナットの締め付け方法」の手順に沿って締め付けてください。

❹ メンテナンス手順①：VU短管の取り外し

VU短管に矢印記入（または表記確認）後、両側の袋ナットを外してください。

❺ メンテナンス手順②：VU短管の取り付け



①Oリングおよび止水面に傷や異物の付着が無いことを確認し、ある場合は除去してください。
②VU短管の矢印表記を利用し、取り外す前に同じ向きにVU短管を取り付けます。その後、「❶袋ナットの締め付け方法」の手順に沿って締め付けてください。

⚠ 排水ユニオンの使用上の注意

- ●取り外しが固い場合等は、市販のフックスパナを使用してください。（袋ナットの窓穴に引っ掛けて使用できます）
- ●不適切な工具等で無理な力や衝撃を与えた場合、部材が破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- ●パイプは直角に切断してください。
- ●接着接合の方法は、当社標準施工をご参照ください。
- ●止水面やOリングにかからないよう、接着剤の塗りすぎにご注意ください。
- ●勾配が変わらないよう、排水ユニオンの間には曲り継手を入れないでください。
- ●止水面は、傷や異物の付着がないよう取り扱ってください。
- ●排水ユニオンの締め付け・施工完了後は、必ず通水試験を行ってください。

基礎貫通キットの標準施工手順

❶ スリーブベンド管（さや管）の位置決め



スリーブベンド管（さや管）の位置を確認後、スリーブホルダーにて鉄筋との離隔距離を確保します。

❷ 型枠の設置



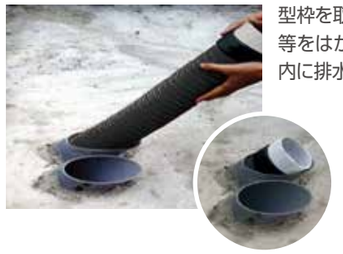
スリーブベンド管の固定後、コンクリートが入らないように、スリーブベンド管の両端を布テープ等で固定して、型枠の設置を行います。

❸ コンクリート打設



スリーブベンド管が移動しないように注意しながら、コンクリート打設を行います。

❹ 排水可とう管の貫通



型枠を取り外し、両端の布テープ等をはがして、スリーブベンド管内に排水可とう管を貫通します。

❺ 止水処理



屋外側スリーブベンド管と内管のすきまをシーリング材にて仕上げます。

●排水の場合
・排水用75・50は屋外側スリーブベンド管と排水可とう管のすき間にコーキングパッキンをはめ込みます。（排水用100はコーキングパッキン不要）

⚠ 排水可とう管にコーキングパッキンを取り付け、スリーブベンド管内へプラスチックハンマー等で軽くたたきながら入れてください。

・屋内外の排水可とう管前後の配管を行った後、上記すき間をシーリング材により充填します。

●給水の場合
・給水の場合は架橋ポリエチレン管にコーキングテープを巻き付け、充填します。
・コーキングテープの上からシーリング材を充填します。

⚠ 基礎貫通キットの使用上の注意

- ●排水可とう管の上にのったり、無理な曲げをかけたりしないでください。
- ●排水可とう管単体でのご使用はおやめください。必ず、スリーブベンド管（さや管）と組み合わせてお使いください。
- ●コーキング部材（パッキン、テープ）はシーリング材の受けとしてお使いください。それのみで止水性能は発揮できません。
- ●配管が建物の外周基礎や壁、床等を貫通する際に使用されるシーリング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤（フタル酸エステル、DOP等）や有機溶剤（キシレン、トルエン等）を含む物（ポリウレタン系シーリング材等）があります。これらの成分を含むシーリング材は塩ビ管や継手に悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。（推奨品:積水フーラー社製 シリコーン系シーリング材、変成シリコーン系シーリング材）
- ●怪我することがありますので、排水可とう管を挿入する際はスリーブベンド管の管端に注意してください。
- ●コンクリート打設時はバイブレーター、突き棒等でスリーブベンド管がつぶれないようにしてください。
- ●スリーブベンド管内にゴミを入れないでください。排水可とう管が通管できなくなることがあります。
- ●排水可とう管は、長さ調整の為にカットできませんのでご注意ください。
- ●設計・施工の際は住宅メーカーと協議した上で、配管を行ってください。